

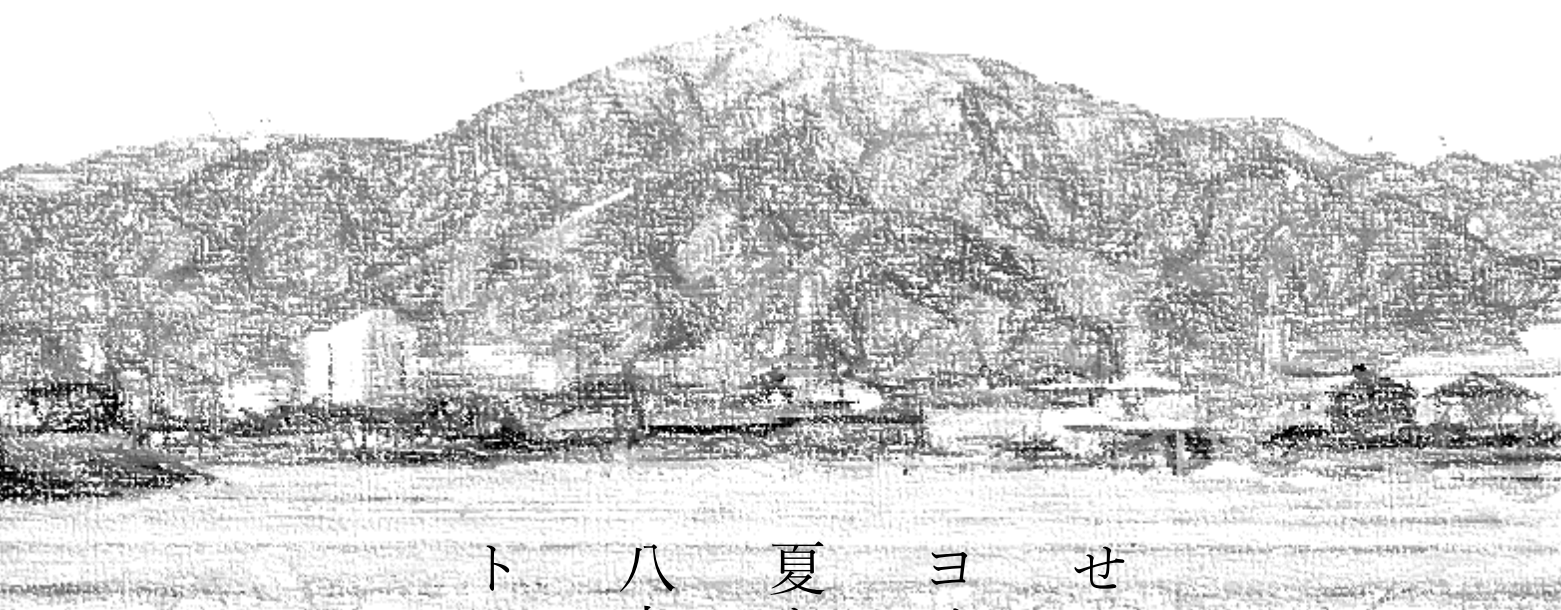
みどり通信

第44号
2025年5月1日

2025

5

令和7 皐



せっせせっせの

ヨイヨイヨイ

夏も近づく

八十八夜

トントントン



「夏も近づく八十八夜」

秋野文子

施設の窓からも新緑が映えている。

菖蒲が咲き端午の節句も、もうすぐ。

柏餅を作った話や白味噌あんが好きと言う話
も出た。

和菓子屋の柏餅は、相当に高いそうだ。

静岡では茶畑で茶摘みが行われる。

今では機械での作業になっている。

昔、中学の周りの茶畑では、ほんとうに茶摘み
が行われていた。

農休みがあり 1 週間、学校は休みだったりし
た。

手遊び「夏も近づく八十八夜 トントン」を、ぜ
ひとも皆で、やりたいと思う。

「茶飲み話」

秋野文子

日当たりの良い縁側で大人が話す。

子どもはゴザを敷いて、ままごと、男の子はメ
ンコ。

小さな庭には花が咲き、種が出来ると持ち帰
ったりした。

風も強く、たまに人が集まり、そんなこともあ
ったという思い出だ。

今では決してない。

それに代わることって何にな
るのだろうか。



「梅干し チーズ 干し芋」

秋野文子

最近ちょっと食欲をなくした。

ホームの中で何とか回復しようと、あるもので揃えた。

緑茶、梅干し、チーズ、干し芋。

あとは出来るだけ納豆、出されたもののの中で食べることに。

自分が食欲をなくすなんて考えられなかった。

自分だけなら作らないが、残すのも辛いものだ。

結局、お茶と梅干しが命綱。

しばらくして回復する。

干し芋の角切も故郷の特産。



アマドコロ

編集後記

5月は爽やかな日が多いはず。
世間の喧騒に惑わされず、淡々と過ご
したい。

秋野

midori2shin@gmail.com

